

株式会社シグマスタッフ

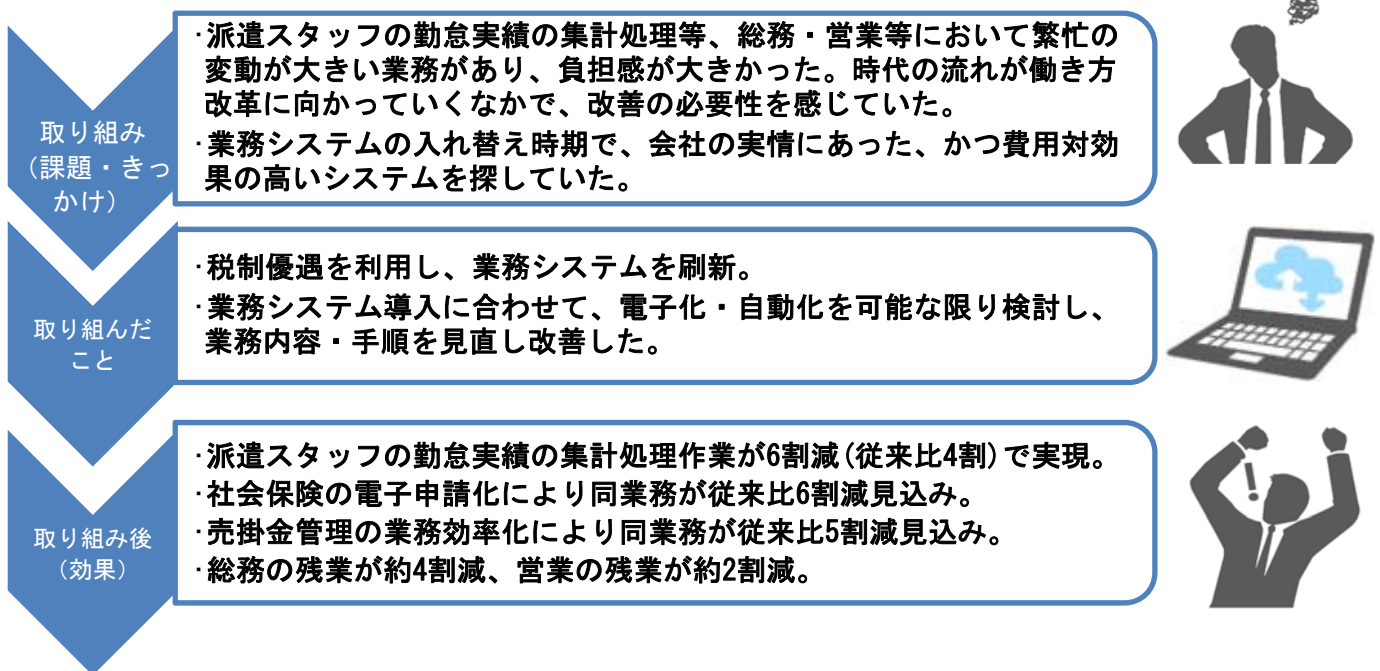




- ✓ 経営力向上計画の認定を受け、税制優遇（税効果を踏まえると実質 15%相当分の値引き）を得て業務システムの入れ替えを実施。
- ✓ 全社業務全体の生産性が向上、総務部門の残業が従来比 4 割減となった。

導入した IT ツール

- ・人材サービス事業者向け業務システム
（「スタッフエクスプレス」 株式会社エスアイ・システム）

導入のきっかけ・取り組み・効果



<p>コスト(費用)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入システム一式+オプション3点（ソフトウェアオプション追加購入） 初年度約 3,700 万円 + 2 年度目 40 万円 ※2 年度目からは利用料のみ 初期費用：ソフトウェア購入 2,800 万円、サーバ機器等購入 900 万円 利用料：月額 3 万 4,000 円×12 か月＝年間約 40 万円 ※購入に際しては、税制優遇を受けた（実質 15%相当分の値引き）
<p>メリット(効果)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣スタッフの勤怠報告の処理作業が 6 割減り、総務の残業が約 4 割減。 ・その他の業務効率化の効果（給与計算、営業職が帰社してから行う事務処理の簡易等）と合わせると、正社員全体での残業削減効果は年間約 10,000 時間となる計算。 ・上記の結果、トータルコストは導入前より抑えられており、コストをメリットが上回っていると判断。

活用の状況（どんなことができているか）

○スタッフの勤怠報告の処理作業が激減しました。

- 働き方改革や業務効率化に取り組むなかで、総務の仕事として負担が大きかったのが、稼働している派遣スタッフから上がってくる勤怠報告の処理作業でした。派遣スタッフが紙に手書きした勤怠シートが毎月 2,000~2,500 枚、総務に上がってきます。担当者はその内容を確認しながらシステムに入力し、給与を計算します。月末月初に集中することもあって、どうしても残業が発生し、給与計算の時期には土日出勤も見られました。
- 「スタッフエクスプレス」という業務システムを導入したことで、その作業が激減しました。派遣スタッフがスマートフォンやタブレットで出退勤や時間を打刻すると、その情報が自動的にシステムに取り込まれます。また、勤怠実績のエビデンスとして、派遣先企業のサイン入りの勤怠シートが写メで画像として申請されてきます。総務の担当者は、以前のようにデータを手入力する必要がほとんどなくなり、エビデンスと申請された時間をチェックすればよくなりました。以前よりも作業量が約 6 割減っています。これだけでも大きな業務効率化ですが、それ以外にデータを転記する際に打ち間違いリスクが激減し、給与計算の自動化も進みました。

○業務全般を標準化し業務効率化することができます。

- 人材派遣業向けの業務システムとしてはメジャーなものだけで 10 ほどあります。それらは、自社の業務の流れに合わせてシステムをカスタマイズできるカスタマイズ系と、そうではないノンカスタマイズ系に大きく分けられ、「スタッフエクスプレス」は後者にあたります。従前使っていたシステムは前者で、しかも、かなりヘビーにカスタマイズしていました。
- 今回のシステム更改は、カスタマイズ系からノンカスタマイズ系への移行となります。なぜそうしたかといえば、人材派遣の業界で 300~400 社という多くの企業が導入している業務システムにすることで、これまでカスタマイズに次ぐカスタマイズで重くなっていたシステムを身軽にし、また、業務自体を標準化することで効率化しようというねらいがあったからです。
- これまでとは業務のやり方が変わり、現場からはとまどいの声もありますが、こうしたねらいから、「システムを業務に合わせてカスタマイズはしません」「業務のやり方をシステムに合わせてください」と言っています。「スタッフエクスプレス」は、派遣を含む人材サービスの業務全般をカバーしており、当社の人材サービスの業務全般の見直しが図れると思っています。
- システムの選定にあたっては、50 項目のチェックリストをつくり、製品を比較しました。

○社員の負荷を減らし、働き方改革や生産性向上が図れます。

- 今後はシステムの機能をさらに活用することで、より多くの業務について、人がやらなくても

よい作業の軽減を図っていくつもりです。例えば、派遣スタッフの出入りに伴って生じる社会保険の手続きや雇用契約に電子申請を入れたり、毎月の売掛金の管理と入金確認をシステム化するなどです。これにより社員が抱えている業務が楽になります。残業を減らし、働き方改革を進めるとともに、より付加価値の高い仕事に注力してもらうことが可能となります。

○サービスをよくしていくことができます。

- 業務システムを入れることで、クライアントや派遣スタッフとの契約を電子化し、スピーディに行えます。これまでのように、書面を送って確認してもらい、ハンコを押して返送してもらい、押印してまた戻すなど、何度もやりとりを繰り返していたことが、メールで承認記録を残しつつ、Web で簡単に済ませられます。派遣スタッフとのやりとりも、スマートフォンやタブレットを使って、いまよりも手軽にかつ緊密に行えます。こうしたことにより、クライアントや派遣スタッフの情報をいち早く入手して、サービスの向上につなげることができます。

コストと効果について

○導入・運用費用

- 「スタッフエクスプレス」の導入には、月額で使用できるサブスクリプションとパッケージ(ソフトウェア購入)の2種類のプランがありますが、当社は後者のプランで導入しました。サブスクリプションに比べ、初期導入にソフトウェア購入という大きな費用がかかりますが、購入後は保守料金のみで、2~3年程度でこちらのほうが総費用が安くなります。また、会計上、サブスクリプションは経費計上となりますが、ソフトウェア購入は資産扱いとなります。
- 初年度の導入費用は、「スタッフエクスプレス」1台分+オプション3点をパッケージプランで導入しソフトウェア購入費が2,800万円、月額利用料が3万4,000円で12か月分では約40万円。これにサーバ機器等ハードウェアの購入費900万円を合わせて約3,700万円となりました。
- なお、「スタッフエクスプレス」の導入は、条件を満たせば中小企業投資促進税制の上乗せ処置(即時償却や税額控除)が適用され、税制優遇を受けることができます。「スタッフエクスプレス」のWebサイトの説明によれば、ケースにもよりますが税効果を踏まえると15%相当分の値引きになるといいます^{※)}。
- 適用を受けるには、中小企業等経営強化法による経営力向上計画の認定を受ける必要がありますが、他の助成金等と比べて申請は比較的容易で、負担は少なかったと記憶しています(お勧めです)。当社の場合、業務システムの更新を検討しているときにこの優遇策を知り、計画の申請を行いました。平成28年7月の制度開始当初より、本産業(職業紹介事業・労働者派遣事業分野)のIT化に利用することは可能だったそうですが、平成31年3月に出た事業分野別の指針に明示されたことで、使えることを始めて知りました。

※) スタッフエクスプレス HP「中小企業経営強化税制」
<https://www.staffexpress.jp/contents/feature/p003.html> (2019/12/16 閲覧)

○効果

- 業務システムの刷新は小さくない投資でしたが、トータルコストは従前より抑えられています。定量的な効果が現れてくるのはこれからですが、総務の残業代だけでも半分くらいになりそうです。
- その他の業務効率化（給与計算、営業職が帰社してから行う事務処理の簡易化等）の効果と合わせると、一人当たり平均して月 10 時間程度の残業が削減できると見込めます。正社員 85 名全体では、残業削減効果だけでも年間約 10,000 時間となる計算です。
- 定性的効果として、何よりも社員が実際に抱えている仕事楽になります。残業が減らせ、働き方改革につながります。また、これまで数十年も自己流でやってきた業務の流れをいったんシステムに合わせて標準化することで、業務全般にわたり効率化が図れると見込んでいます。クライアントや派遣スタッフの情報をより早く共有することで、サービスの向上が図れます。

Q&A

ーIT化に取り組んだ経緯は？

- IT活用によって他社との差別化を図っていくなかで、業務の効率化の必要や課題があり、それに対応しようということで取り組む中での一環として行いました。

ー社内にITに詳しい人はいますか？

- もともとはいませんでした。10年ほど前までは、業界の急拡大に対応するための投資が優先されて、管理系は後回しとなっていました。それが、法律が変わってシステムを見直さなくてはならなくなり、また、プライバシーマーク等に対応したセキュリティ対策も必要となりました。そこで当社の代表者が専門性のある人材の必要性を感じ、いくつかの会社でSEを経験してきた人材を採用しました。併せて社内業務の改善に取り組んできた人材も採用しました。
- 一般社員向けにIT研修を行っています。新しいシステムを入れるときは、マニュアルを作り、関係者を集めて定期的に説明会を実施、その他テーマに応じた臨時研修や個別のフォローアップ研修をしています。

ー費用対効果についてどうお考えですか？

- 費用対効果を見ながら投資していますが、この業界で生き残っていくには、新しい技術を取り入れることが必要です。電子化、自動化など考えられることはこれからも行っていきます。

株式会社シグマスタッフ

<https://www.sigma-staff.co.jp/>

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-25-2 新目黒東急ビル 6 階

主な事業：人材派遣事業、人材紹介事業、アウトソーシング事業、再就職支援事業、
教育・研修事業

設立：1983年2月

資本金：1,000万円

従業員数：85名（2019年12月1日時点）